

ふりがな 氏名	うえむら けんぞう 植村 兼三	都道府県	広島県	
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> ・広島大学大学院国際協力研究科教育文化専攻 ・トビタテ留学 JAPAN 10 期生 			
関心・活動の SDGs	 			
私のESD活動	インドでのストリートチルドレンに対する研究調査・サイエンスショー			
活動の概要				
<p>私は 2015 年にインドに訪れたことをきっかけに、ストリートチルドレンの問題に関心を持ち始めました。路上の子どもたちを観察していると、何かに夢中になる機会や学習機会の少なさ、将来の選択肢の少なさ、限られた遊びの種類、といった課題が見出されます。そして 2019 年 4 月から 9 月までインドに滞在し、路上の子どもたちへの理解を深めるための「ストリートチルドレンとその他の人々の関係性」に着目した研究調査と、上記で述べた課題を解決するためのサイエンスショーを実施しています。サイエンスショーというアイデアに至った理由は、理科教育について勉強していた私の強みを生かせることに加え、遊びと勉強を混ぜた活動である点、勉強から職業の知識に結び付けることが出来る点が、上記の課題解決のために役立つと考えたためです。例を挙げると、自転車が倒れない仕組みを、車輪を用いて体験してもらい、同じ原理を使ったおもちゃであるコマ遊びをするなどを実施しています。</p> <p>私は来年度から小学校教員になります。現在の成果としては、「物乞い」というストリートチルドレンに関する根本的な問題が見出せたことが挙げられます。本活動の成果をより充実させるためにも、自身の経験を日本の子どもたちに還元し、子どもたちの選択肢の多様化、国際協力の推進に貢献します。具体的には、自身の教室とインドのストリートをビデオ通話で結びサイエンスを通じた交流を行う活動を考えています。</p>				
私が考える未来の教育象				
<p>現在私は、「トビタテ留学 JAPAN」のご縁を頂き、インドにきています。「自己実現」を応援するこのプロジェクトの卒業生の多くが、現在社会問題の中心に立ち活躍されていると聞いています。</p> <p>また、いじめや殺人事件、ハラスメント問題が世間のニュースを賑わしている現状に鑑みると、今一度「他者への尊敬」という、人としての最も大切な面を子どもの時から考える必要性が求められていると強く感じます。</p> <p>人の成長に寄り添う教育において、「自己実現」「他者への尊敬」という人としての基本こそがこれからの教育だと捉えています。このことを突き詰める先に、グローバル化への対応、社会の成長が自ずと見えてくると考えています。</p>				
私の強み、活かせる経験やスキル				
<p>他者の意見・考えを取り入れて行動する能力が、私の強みです。小学校・中学校・高校と野球を続けてきましたが、常に主将・副主将という立場で活動を行ってきました。その際に一番にチームの和を重んじ、他者の考えを聞くことを意識してきました。さらに、現在インドでも、現地 NGO の方々と共に新プロジェクトに取り組んでいますが、その際にも言語の壁にぶつかりながらも、他者の意見・考えを取り入れ新しく始まったプロジェクトの調整を行っています。このような環境で自ずと磨かれた、他者の意見・考えを取り入れて行動する能力は、他者と連携・協働するうえで「チームの和」を育む面で活躍できると考えます。</p>				